

TITLE：昭和の空気漂う地下図書室

KEYWORD：地下遺構×昭和モダン×文学



STORY：待ち合わせ時間より1時間早く、私は新橋のホームに降り立った。もちろん間違えてしまったわけではなく、お目当ての場所に向けて歩き出す。辿り着いた場所は幻のホームを利用した地下図書室。昭和の面影を残すホームに置かれた本棚から、かつての文豪の作品を取り出し席に着く。柔らかい光を放つ照明と遠くから聞こえる地下鉄の音が、どこか懐かしい世界へと私を誘ってくれる。「遅刻しないように気をつけなければ」、そう思いつつ本に目を移し、昭和モダンに身を委ねた。

MTR-B-0260